



Lend a Hand

会長／山本 賢
幹事／西山 斉
SAA／小林 繁男

三条北ロータリークラブ週報

手を貸そう

例会日
2004. 1. 6
累計 No 832
当年 No 25

国際ロータリー会長 ジョナサンB.マジアベ 第2560地区ガバナー 原 信一
ホームページ <http://www.rotary2560.net>

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
TEL35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 新春例会 山本会長

新入会員入会式 本間重満さん

出 席： 本日の出席 59名中 51名

先々週の出席率 58名中 44名 75.86% (前年同期81.67%)

先週のメイクアップ： 12月17日 三条RCへ 石川勝行さん

18日 加茂RCへ 中條耕二さん

22日 三条南RCへ 石川勝行さん、中條耕二さん

26日 オンツー関西委員会 (GB事務所) 中條耕二さん

29日 三条南RCへ 中條耕二さん

1月5日 三条南RCへ 岡田 健さん、中條耕二さん

ビジター： 米山奨学生 チュドリー、エムディ、ズバエル、アクタル君

12月30日記帳

三条南RCより 馬場信彦さん、飯山勝義さん、星野健司さん、西野治邦さん

武藤昭三さん、橋本和雄さん

会長挨拶： 山本 賢会長



年も明け平成16年を迎えました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、『三国志』の中の「魏書(魏志)」に「学を為すは正に三余を以ってすべし。冬は歳の余、夜は日の余、陰雨は時の余と謂う」という箇所に目が止まりました。これに従えば冬の今は「歳余」ということで「自分をみきわめる」にはもってこいの時期といえましょう。

オーストリアのノーベル賞受賞(1933年)物理学者エルヴィン・シュレーディンガーは、『生命とは何か—物理的にみた生細胞—』という興味深い著書を出しています。この本のエピローグで「われわれは誰でも、自分自身の経験と記憶の総和は一つのまとまったものをな

よい医師の十ヶ条

一、医師たるものは、なによりも医師としての「ウデ」を磨かねばならない。それによって始めて専門職たりうる。

二、患者は医師にとって大切な顧客である。「診てあげよう」という態度でなく、「診せていただく」という謙虚で温かい心で接しなければならぬ。

三、患者の訴えをよく聞き、丁寧に診察し、その結果や治療方針を患者にわかりやすい言葉でよく説明する。それによって患者の苦痛は半減し、医師への信頼感が生れる。

四、検査だけに頼って、患者を診る機会を少なくしてはならない。患者の症状そのものから診断の手がかりを得、また、治療の方針を教えられることが多い。

五、いかなる「クスリ」といっても、生体にとっては異物であり、毒物であることを銘記すべきだ。病人を治すのは、あくまでも自然に内在する治癒力であって、われわれが治すものではない。

六、不幸にして患者が亡くなった場合は、出来る限り病理解剖をお願いする。死因を究明し、自らの思考を反省することによって正しい経験が積み重ねられる。

七、医師は医療チームのリーダーである。スタッフ全員から敬愛され、チーム全体の活動が患者にとって最善になるよう努めねばならない。

八、日常の仕事の情性の中に埋没して初心を忘れてはならない。医学、医療の研鑽には限りがない。また、その研鑽の成果を発表し、書いておくことも必要である。

九、医師は、その三分の二は専門書を、三分の一は専門外の書を読むべきである。学問を深めることによって、人間の尊厳を実感できる自己を形成してゆける筈だ。

十、最後に、よい医師とは、よい人間に通ずる。よい人間たりうるには、人間を知り、人間を愛し、そして自ら苦しむことによって得られる。

竹 本 吉 夫

病院長として医師に(一九八六年四月)



しており、他の誰のものとも画然と区別がつくということを疑う余地のないほどはっきり感じています。そしてこれを『私』と呼ぶわけです。この『私』とは一体何でしょう。」と問い掛けています。年頭にあたり私も自分を考える時間が持てました。

そんな中私の頭に浮かんできた思い出に新潟県出身で秋田赤十字病院に長く勤めておられた、故竹本吉夫先生がおられます。その竹本先生のお話をしたいと思います。

先生はどんな困難な状況の中でも考え方は常に前向きであり、未来思考でありました。現状に甘んじず、常に先を考え、地域を考え発言し提言しておられました。私が最後に先生とお会いしたのは平成14年9月、たまたま私の子供が秋田で勉学中でその大学の30周年記念式典に行った時になります。

又、私が土崎の病院に出張した時にお食事に招いていただいた記憶がよみがえってきます。そういう意味では子供が引き合わせてくれた神の仕業とも言えましょう。

先生の功績を見えますと院長の時、独立採算制でありながら、一代で2回も病院を新築、増築され、最後は短期大学も創られました。「人を生かす経営」がどのようなものであったか、その生の姿が浮かび上がってきます。新潟県出身でありながら、秋田県の選ぶ賢人会25人のひとりであることから立証できると思います。

また先生はロータリアンでもありました。秋田ロータリークラブにおける功績を見ても、理事、会長、分区代理を歴任されています。そして最高の名誉である「Service Above Self 賞」を授与されています。

先生は自分が胃癌であることを知っておられ、9年間癌と戦い続け、それでも決して弱った姿を周りには見せない人でした。そして最後は娘さんの元、新潟市にある施設ケアポート砂山で家族に見守られながら静かに永眠されました。

先生には人生を生きていく上で、医学のことだけでなく、人間として非常に感銘を受けた思いでいっぱいです。竹本先生が常に言っておられた「念ずれば花開く」は私も好きな言葉です。ここにその竹本先生の「よい医師の十ヶ条」を紹介します。医師だけでなく皆様にも通じる所があると思います。是非拝読ください。

ところで先日古いアルバムを整理しておりましたら、昭和40年代の三条ロータリークラブの懐かしい写真が見つかりました。若き、鈴木宗資氏、中條耕二氏、私の父等の姿が写っていましたので本週報に載せさせていただきます。

幹事報告：西山幹事

・横山GBエレクトより 行事日程のお知らせ ご協力よろしくお願い申し上げます

エレクト研修 3月14日（日）

地区協議会 4月11日（日）

公式訪問 三条3RC合同で開催 日時は後日

地区大会 10月16日・17日

・中条胎内RCより 創立10周年記念式典のご案内

日時 平成16年4月25日（日）13：15～

ちませんが自分なりに頑張りたいと思います。新入会員が一人入会され嬉しく思います。

山崎勲君

小林幹扶君 明けましておめでとうございます。クリスマスパーティに引続き新年より多くの会員の御協力に感謝します。12／16のレオナの歌謡ショーの出演料です。BOXに協力します。

新入会員入会式：

新入会員 プロフィール：

氏 名 本間 重満

生年月日 昭和27年1月1日

会社名 （有）本間工業

役職名 代表取締役

会社住所 本社 栃尾市大字上塩662

大崎工場 三条市西大崎2-25

TEL38-1777 FAX38-1777

自宅住所 栃尾市大字上塩784-2 TEL0258-53-2347

家族構成 君子（妻） 麻美（長女） 剛（長男）

理事会（第7回）

開催日時 平成16年1月6日（火） 12：00～

開催場所 三条ロイヤルホテル

出席者 山本 斎藤（正） 西山 羽賀 大橋 山崎 梨木 小林（繁） 山中
笹原 石川（勝） 淵岡 本間 小林（満） 出席者14／14（委任状1）

協議事項 1. 次年度委員会組織の件 承認
2. 新入会員候補の件 承認
3. クリスマスパーティー決算報告 承認
4. 新年会企画案確認 承認
5. 2月理事会開催日時の件 承認
1月27日18：00～（新年会前）
6. 5/25例会取り扱いの件 承認
国際大会参加に振り替え参加者以外は記帳

1月13日例会：ロータリー理解月間

1月20日例会：会員卓話 大野新吉会員

1月27日例会：新年会 18：30～三条ロイヤルホテル

2月3日例会：世界理解月間

